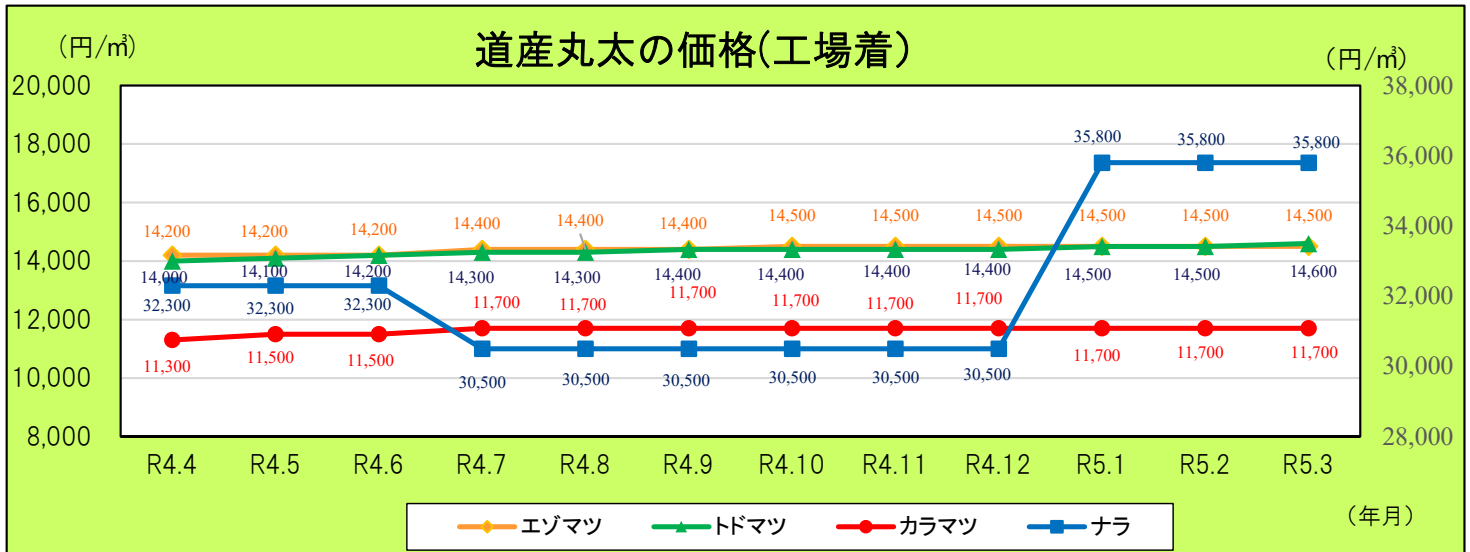


行政の窓

令和4年度の木材市況について－道産木材の動向と価格の推移－

【道産丸太】

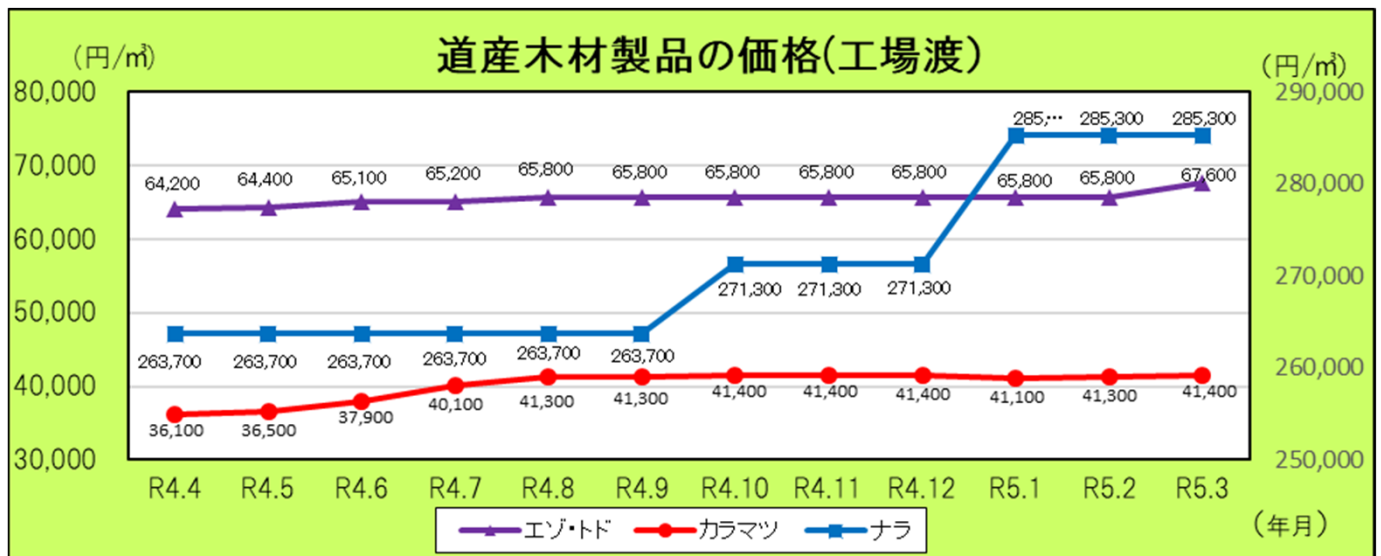
昨年のいわゆるウッドショックをはじめとした世界情勢の影響を受け、道産丸太の動向についても不安定な状況が続きました。道内製材工場の原木在庫については、エゾ・トドは概ね順調に入荷したものの、カラマツは不足感が強く、また、令和3年夏頃から上昇しはじめた価格については、いずれも高止まりで推移しました。広葉樹（ナラ）は、輸入材の減少により令和3年末の2万円台から価格は上昇し、3万円台と高値で推移しました。



- 【エゾマツ】 【トドマツ】 ・ ・ 径24～28cm，長さ3.65m，品等込
- 【カラマツ】 ・ ・ 径14～18cm，長さ 3.65m，品等込，○ 【ナラ】 ・ ・ 径30～38cm，長さ2.4m上，品等3等

【道産木材製品】

エゾ・トド製品の動向は、令和4年度前半までは取引旺盛で引き合いが強く価格は上昇し、その後、新設住宅着工の減少などから建築材の受注の減少が続きましたが、価格は概ね高止まりで推移しました。カラマツ製品は、夏頃から産業用資材の受注減少が続きましたが、価格は高止まりで推移しました。広葉樹（ナラ）は原木価格の高騰から、製品も高値で推移しました。



- 【エゾ・トド】 ・ ・ 甲II-2級，10.5cm×10.5cm×3.65m
- 【カラマツ】 ・ ・ 梱包材，定尺，○ 【ナラ】 ・ ・ 板類1等，2.7cm×15cm上×2.0m以上
- ☆ 北海道庁林業木材課ホームページ/木材市況調査

(水産林務部林務局林業木材課林業金融係)